

2023 年度経済学部卒業時アンケート

- 調査対象：495 名（2023 年度 9 月卒業生 12 名、2023 年度 3 月卒業生 483 名）
- 調査実施期間：2023 年 9 月 1 日～9 月 30 日、2024 年 3 月 1 日～3 月 31 日
- 回答者数：440 名（2023 年度 9 月 7 名、2023 年度 3 月 437 名）
- 回答率：88.8%

2023 年度 3 月卒業時アンケート結果概要

- ① 入学後の総合的な満足度は、いずれの項目も 9 割前後の学生が満足している（「満足」＋「どちらかという満足」）。→図 2、図 4
- ② DP については、全項目で 8 割以上の学生が「かなり身についた」ないし「ある程度身についた」と実感している。学科の差異はあまりない（DP5 は経済学科が若干低め）。→図 5、図 6 ※全項目で「あまり身につかなかった」「全く身につかなかった」と答えたのは 4.58%。
- ③ 現行カリキュラムに関する不満では「データ分析の講義が少ない」が最も高く 3 割弱程度。→図 9
- ④ 成績優秀層（GPA¹3 以上）とそれ以外の層では、カリキュラムに求めるものが大きく異なる。→優秀層では、「社会保障・福祉」分野への関心が高く、「データ分析授業」に加えて「時事的な経済問題を扱う講義」や「アクティブ・ラーニングや問題解決型授業」などを手厚くして欲しいという要望が強い。→図 7、図 9
- ⑤ 就職活動で評価されたものとしては、DP では「DP2 実践的スキル」、大学時代の活動としては「アルバイト」が高い。大学時代の活動として、成績優秀層は「専門科目の学習」と「資格取得」が、成績下位層は「部活動・サークル活動」が評価されたと感じている割合が高い。→図 11、図 12、図 13
- ⑥ オンライン導入の影響としては、「大学での学習・研究」、「資格取得」に関しては「悪くなった」と「良くなった」が同程度（それぞれ 15～26%程度）だが、成績によって感じ方が大きく違い、優秀賞は「良くなった」、下位層は「悪くなった」と感じている人が多い。就活関連は「悪くなった」（15～20%程度）より「良くなった」（25～30%程度）が高い。ただし、各種交流では明確に「悪くなった」が高い。→図 14、図 15
- ⑦ 利用制限で困った施設としては、「学習センター」、「キャリアセンター」、「図書館」、「運動施設」、「生協」が高い。→図 16、図 17

基本属性					
性別	回答数	割合	入試形態	回答数	割合
男性	346	79.18%	推薦入試	194	44.39%
女性	84	19.22%	一般入試	187	42.79%
その他	4	0.92%	センター入試	22	5.03%
無回答	3	0.69%	スポーツ入試	16	3.66%
所属学科	回答数	割合	資格取得者入試	12	2.75%
経済学科	314	71.85%	外国人留学生入試	3	0.69%
国際経済学科	123	28.15%	3年次編入	3	0.69%
卒業生：483名 回答数：437名 回答率：90.48%					

¹ 昨年に引き続き、卒業生の通算 GPA を卒業時アンケートに接続した。回答者の GPA の平均は 2.47、標準偏差は 0.57、最小値 0.91、最大値 3.82 であった。

図1：授業履修時に重視した要素

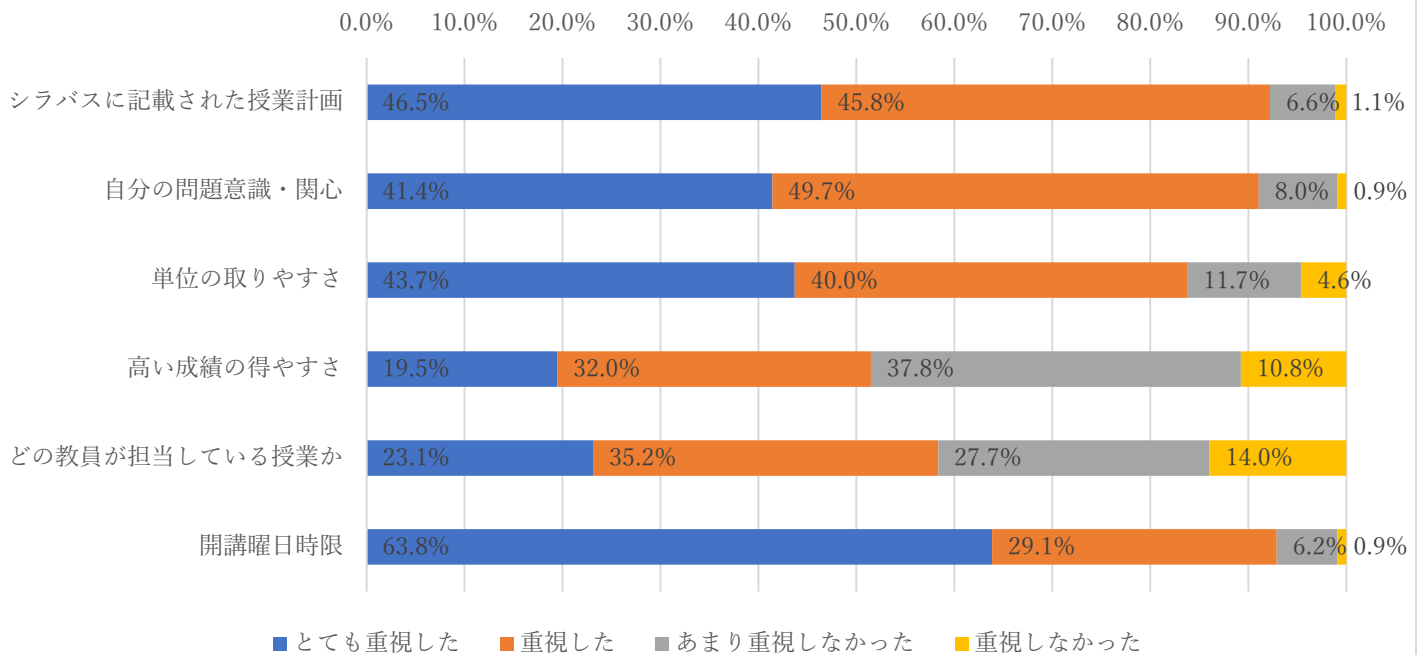


図2：入学後の総合的な満足度

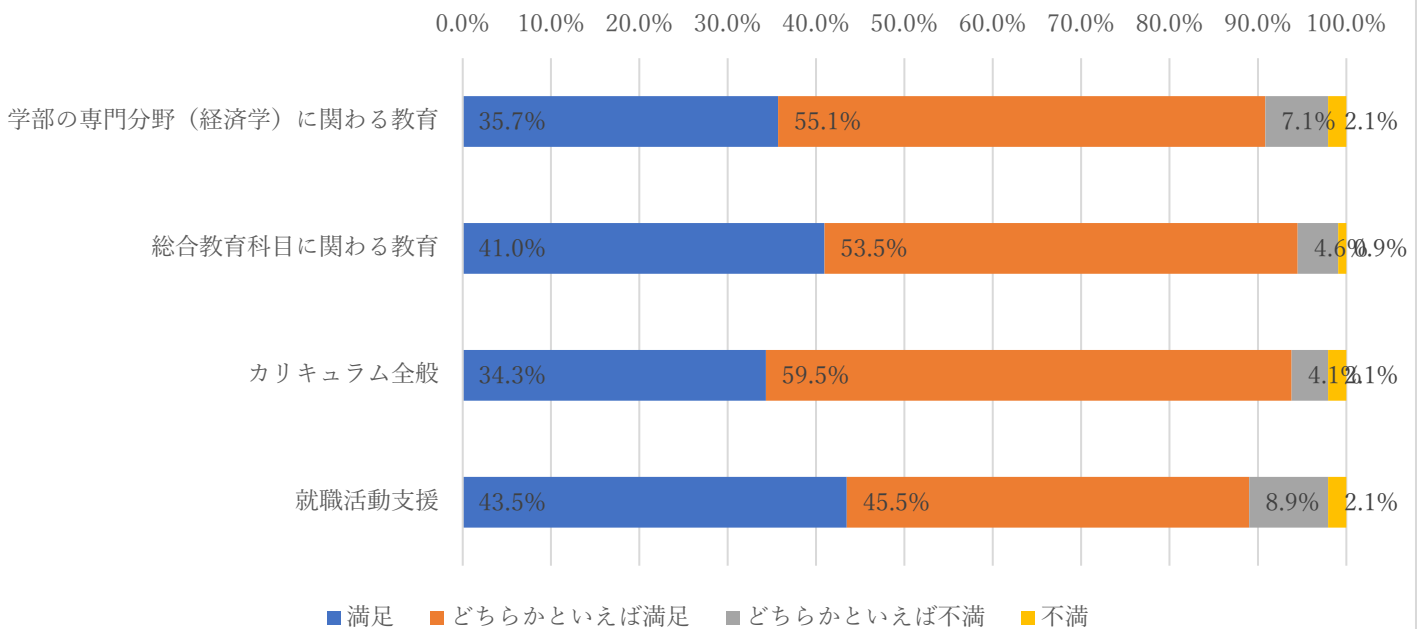


図3：ゼミ満足度

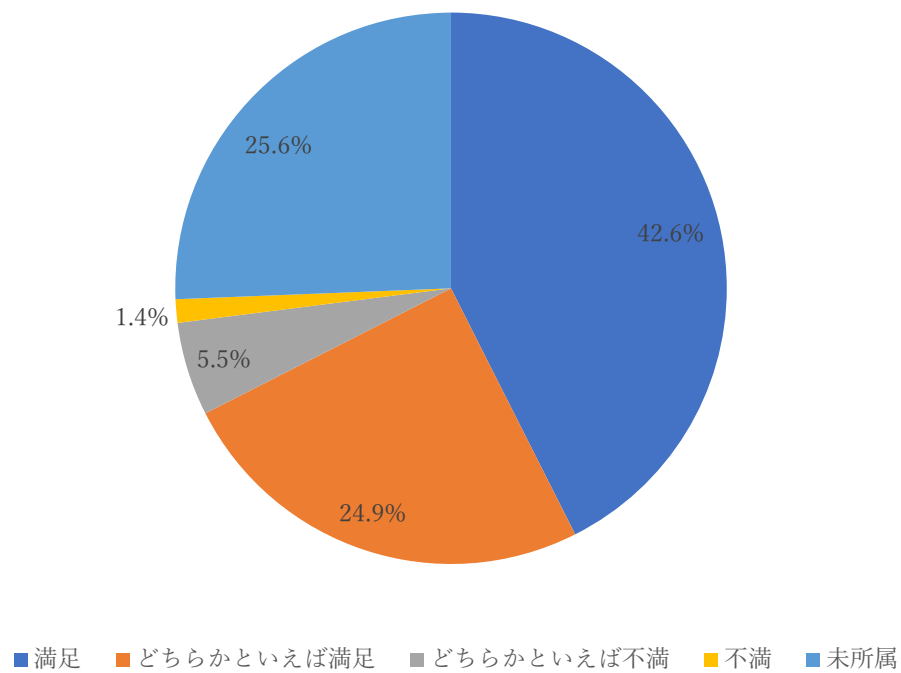


図4：ゼミ満足度（ゼミ履修者のみ）

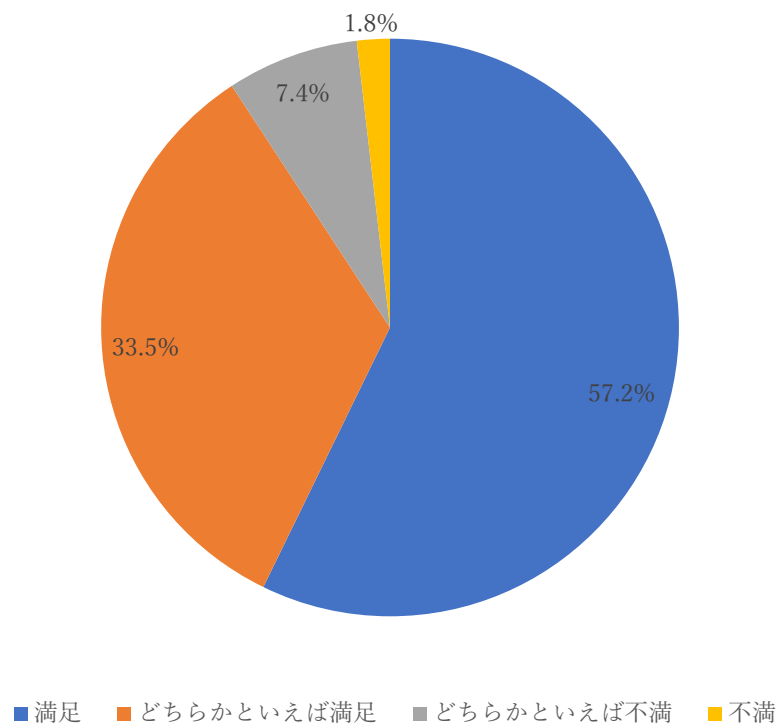


図5：大学での学習を通じて身に着けた能力、スキル

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

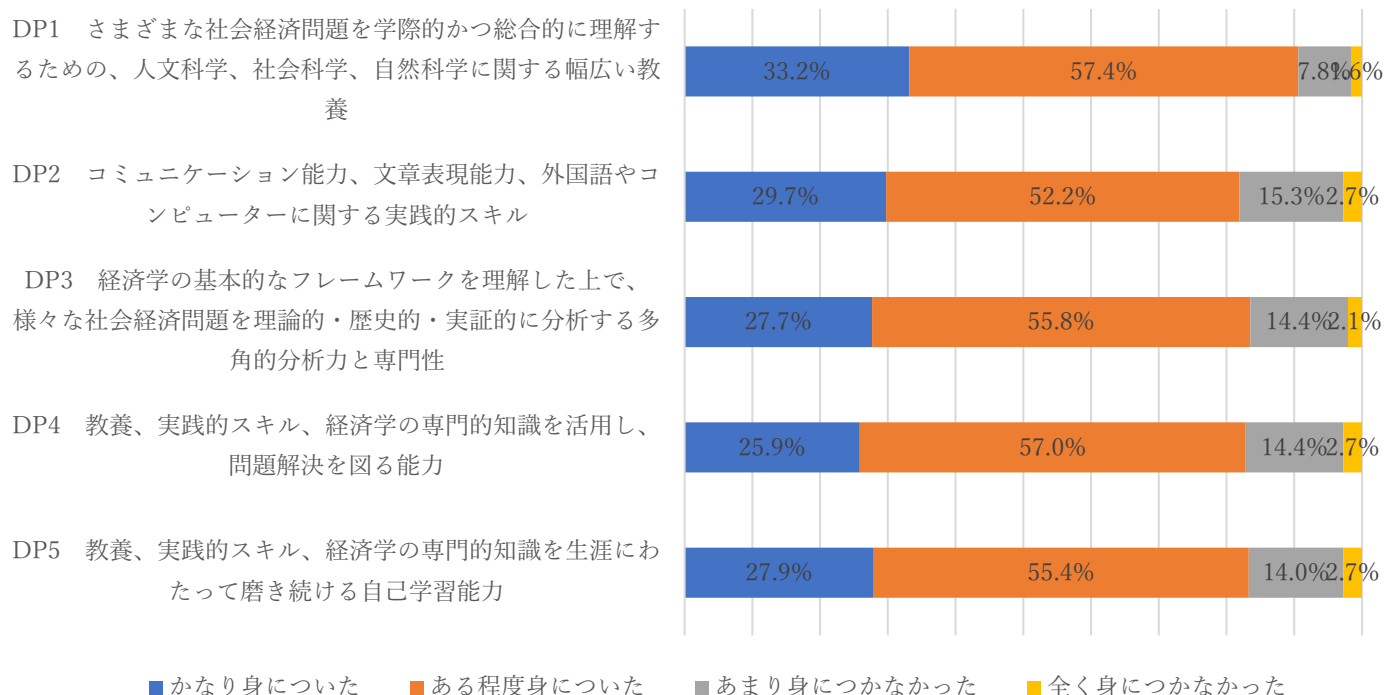


図6：大学での学習を通じて身に着けた能力、スキル（学科別）

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

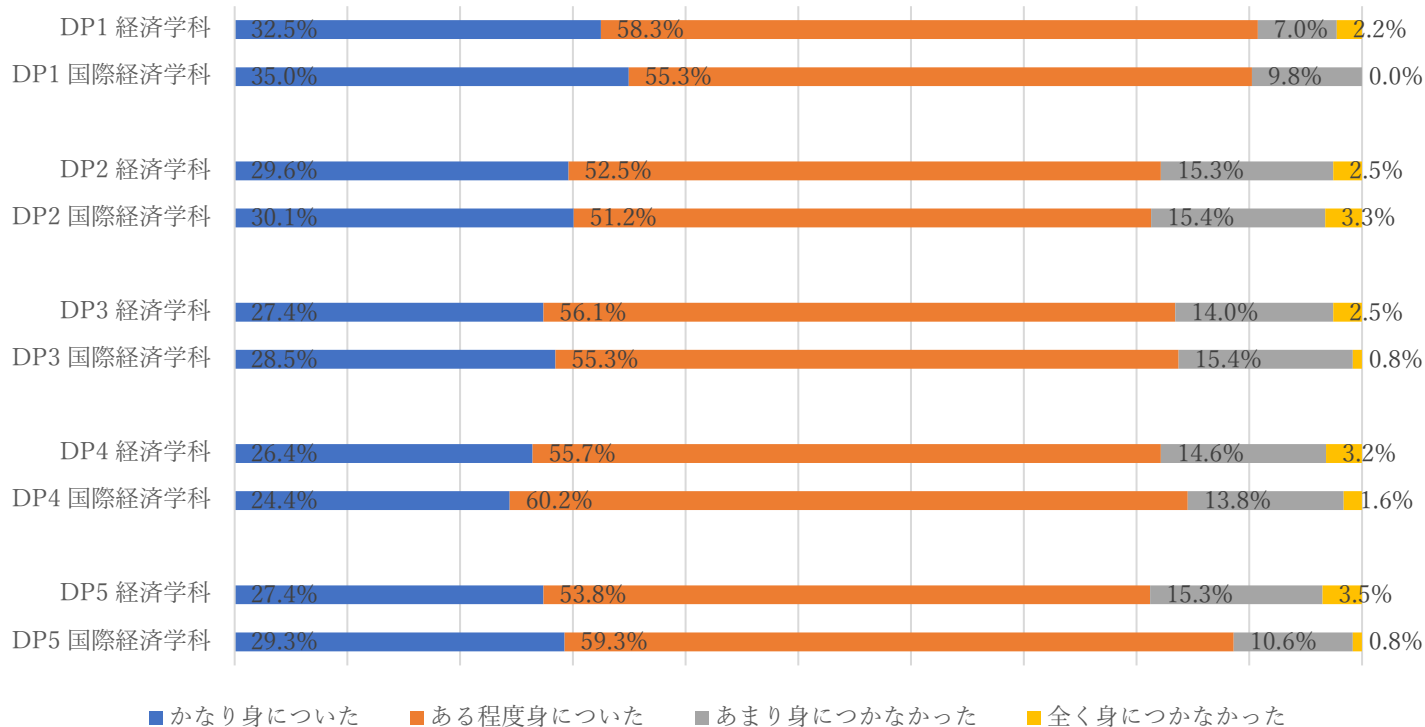


図7：最も興味を持った分野

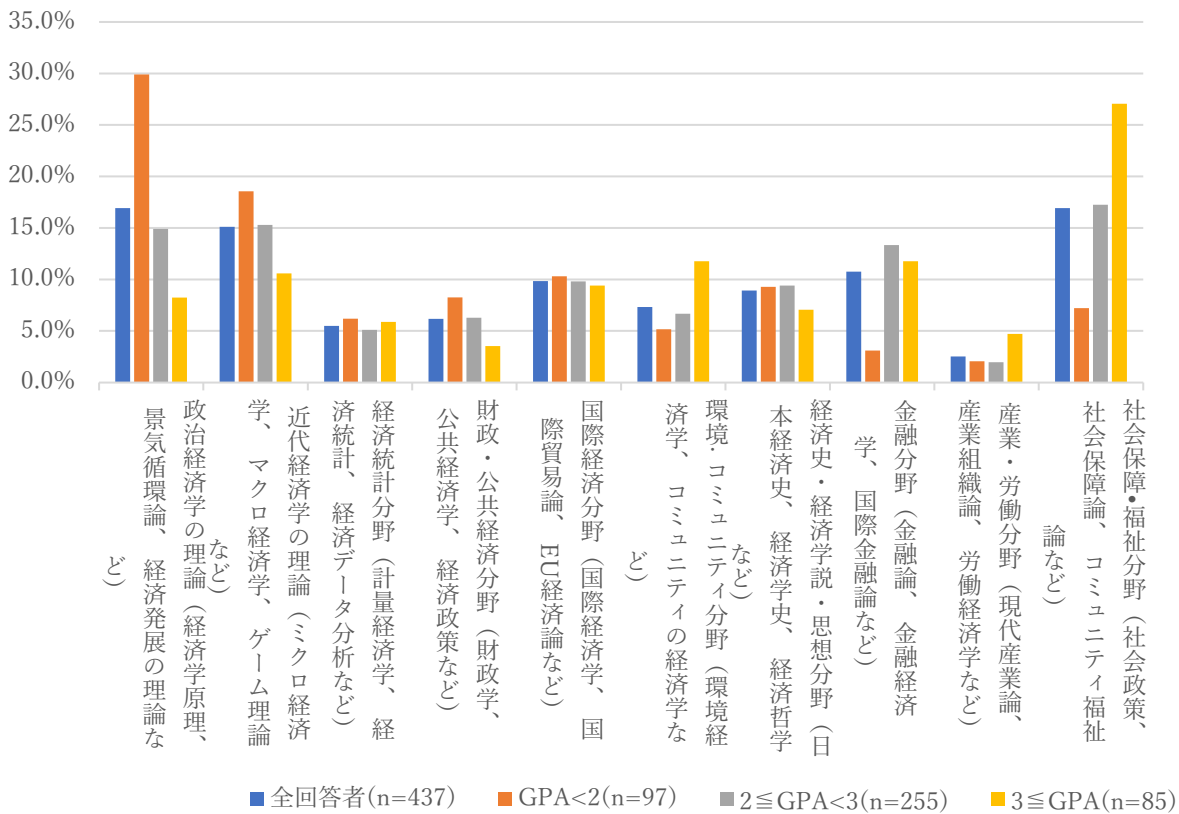


図8：開講されていれば履修してみたかった科目
(3つまで選択可)

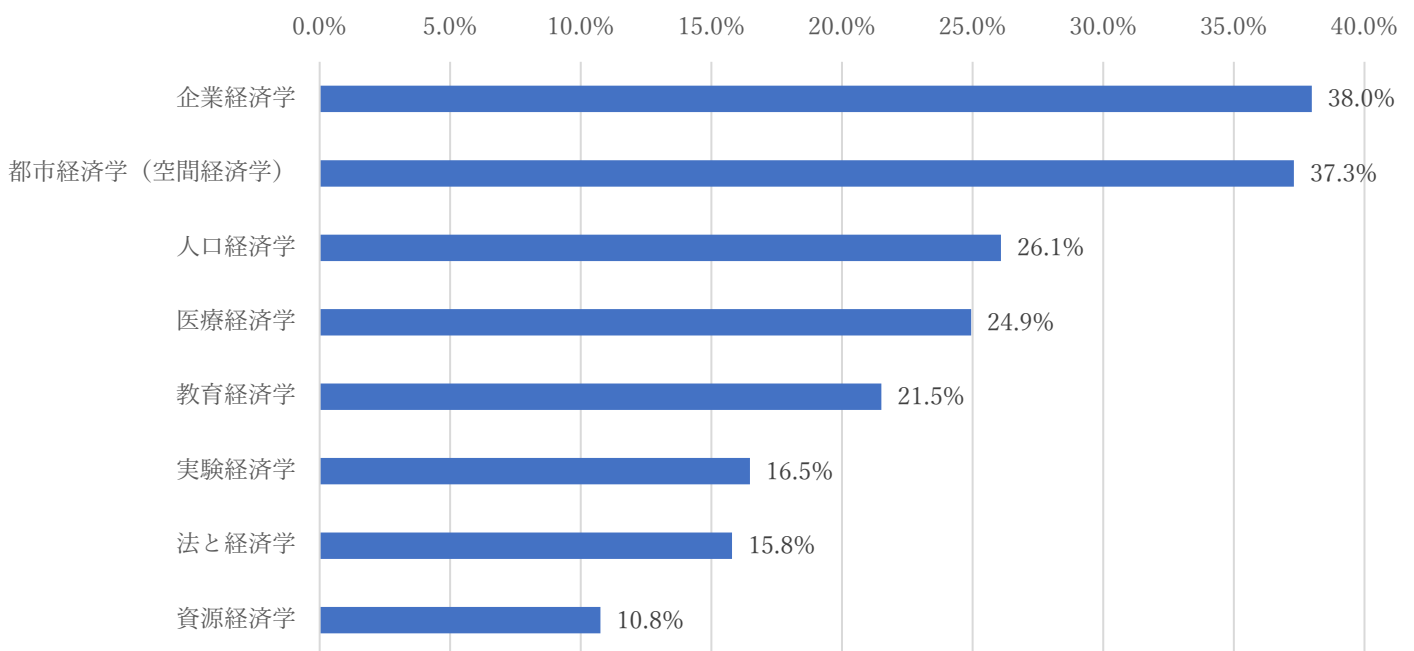


図9：カリキュラムへの不満（3まで選択可）

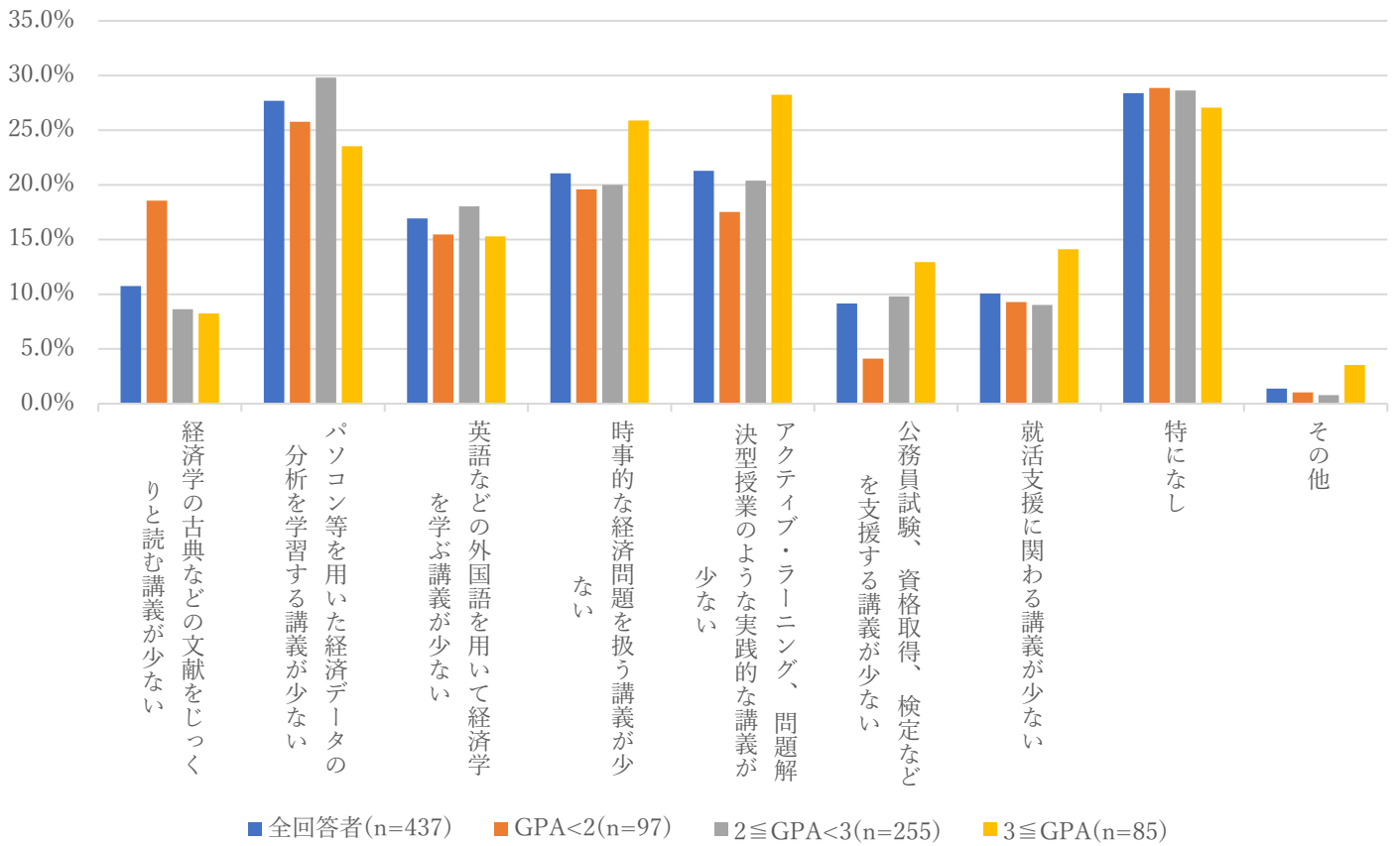


図10：予定進路

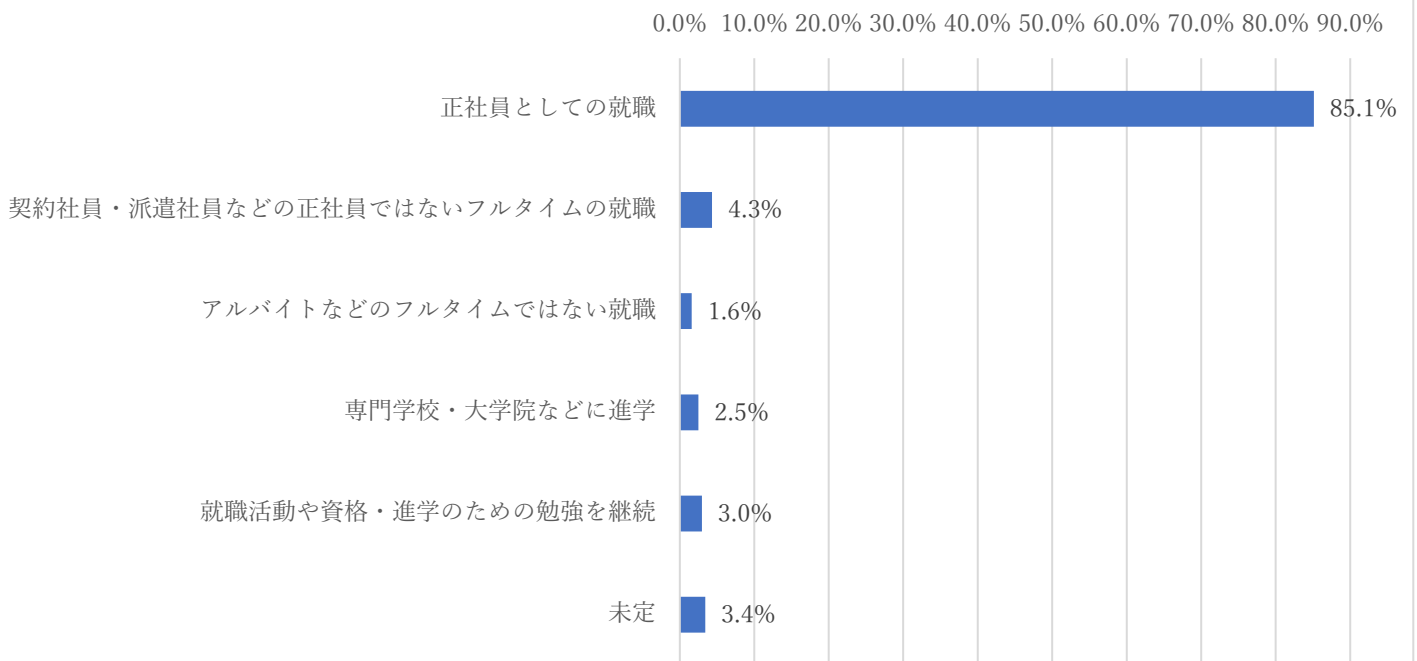


図11：進路と希望度

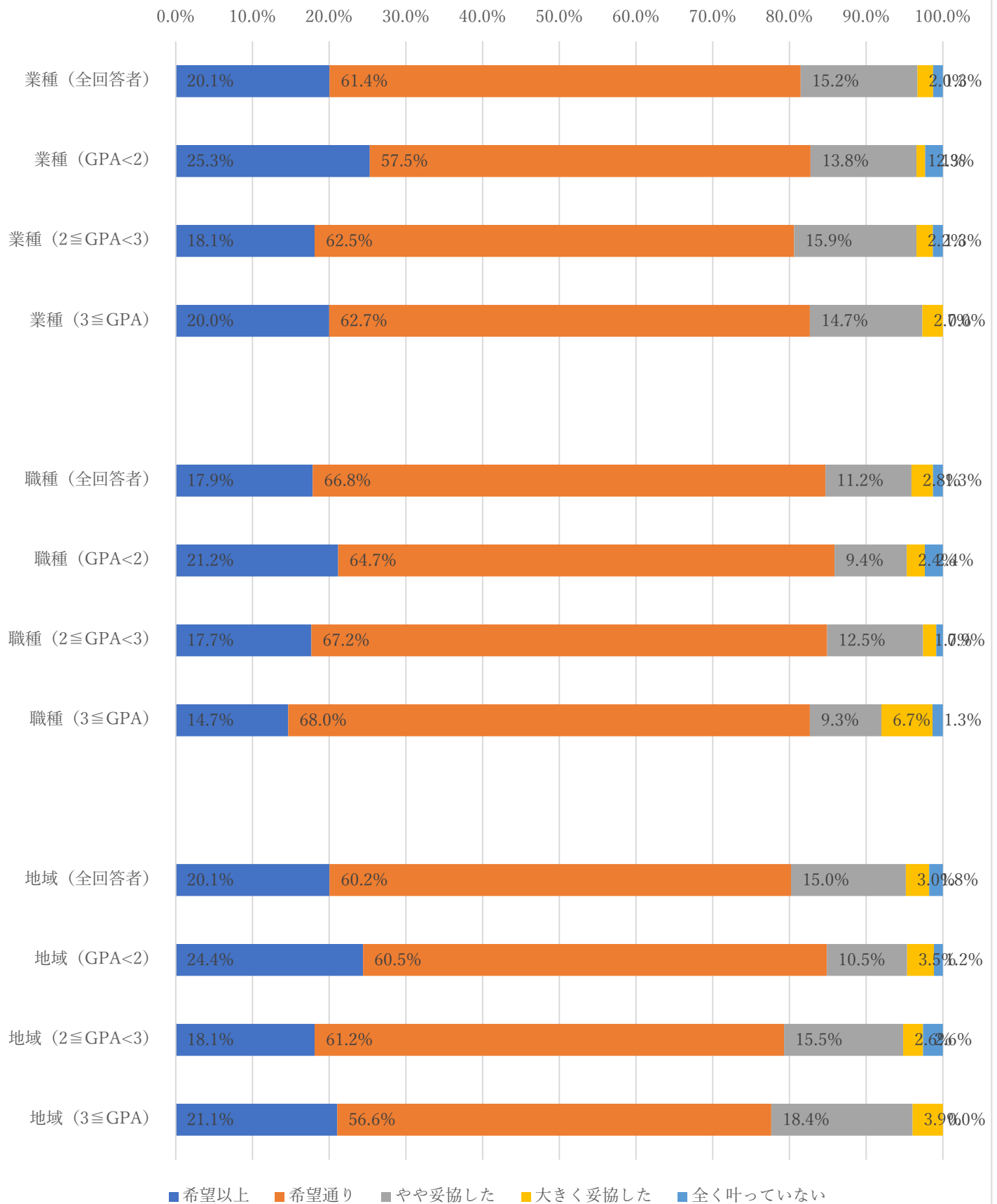


図12：就職活動で評価されたと感じた能力

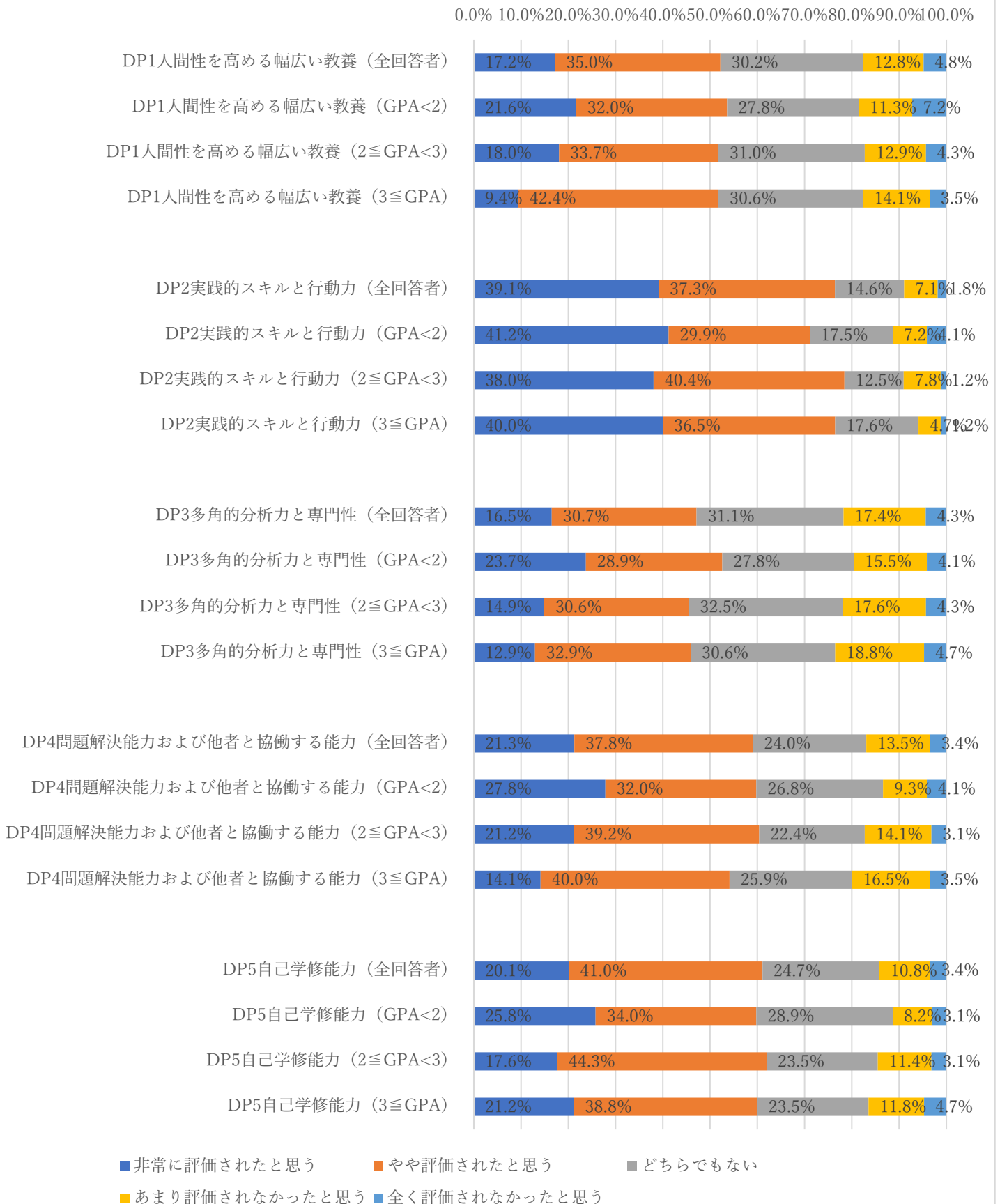


図13：就職活動で評価されたと思う大学の活動（3つまで選択可）

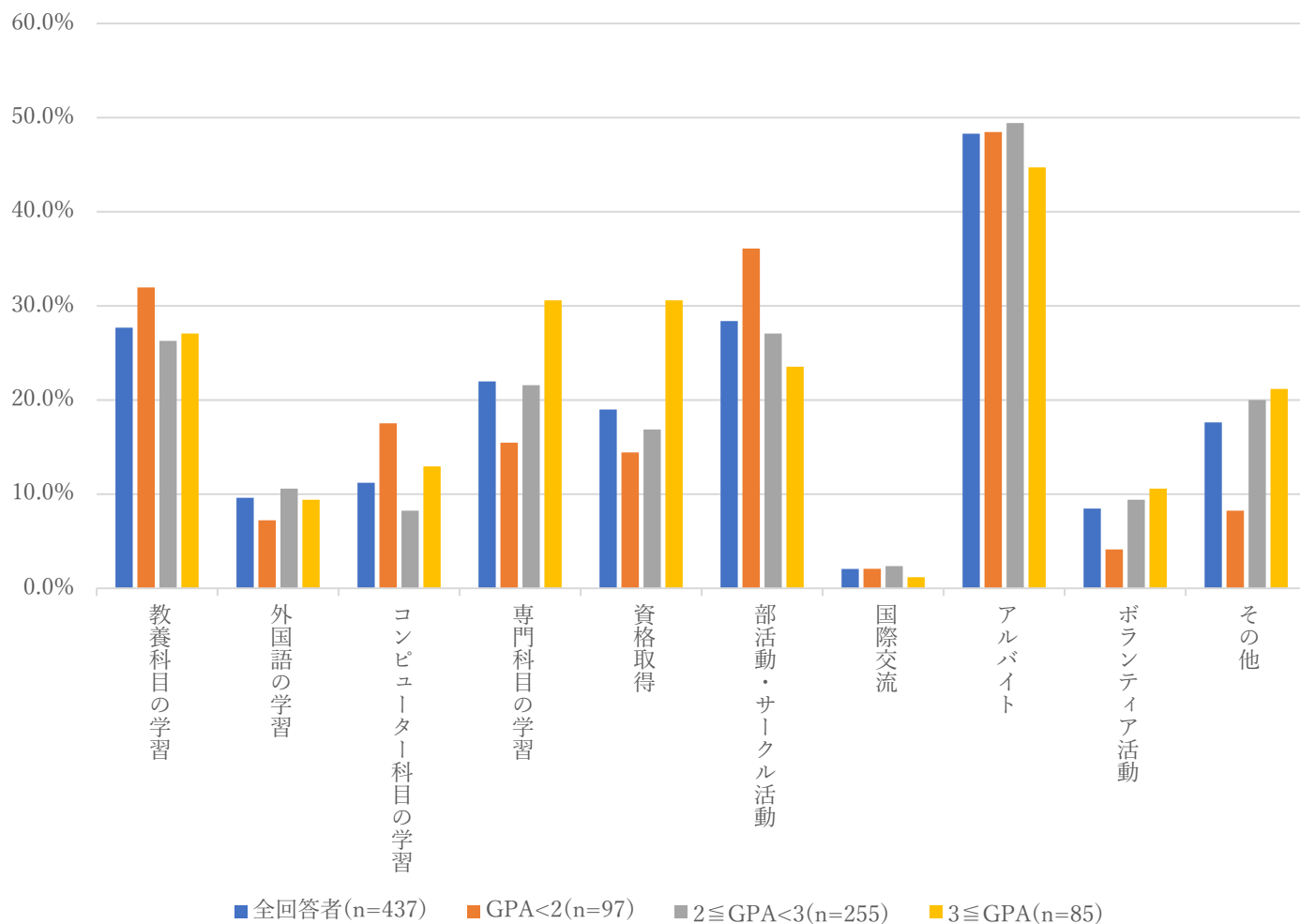


図14：オンライン授業による影響（その1）

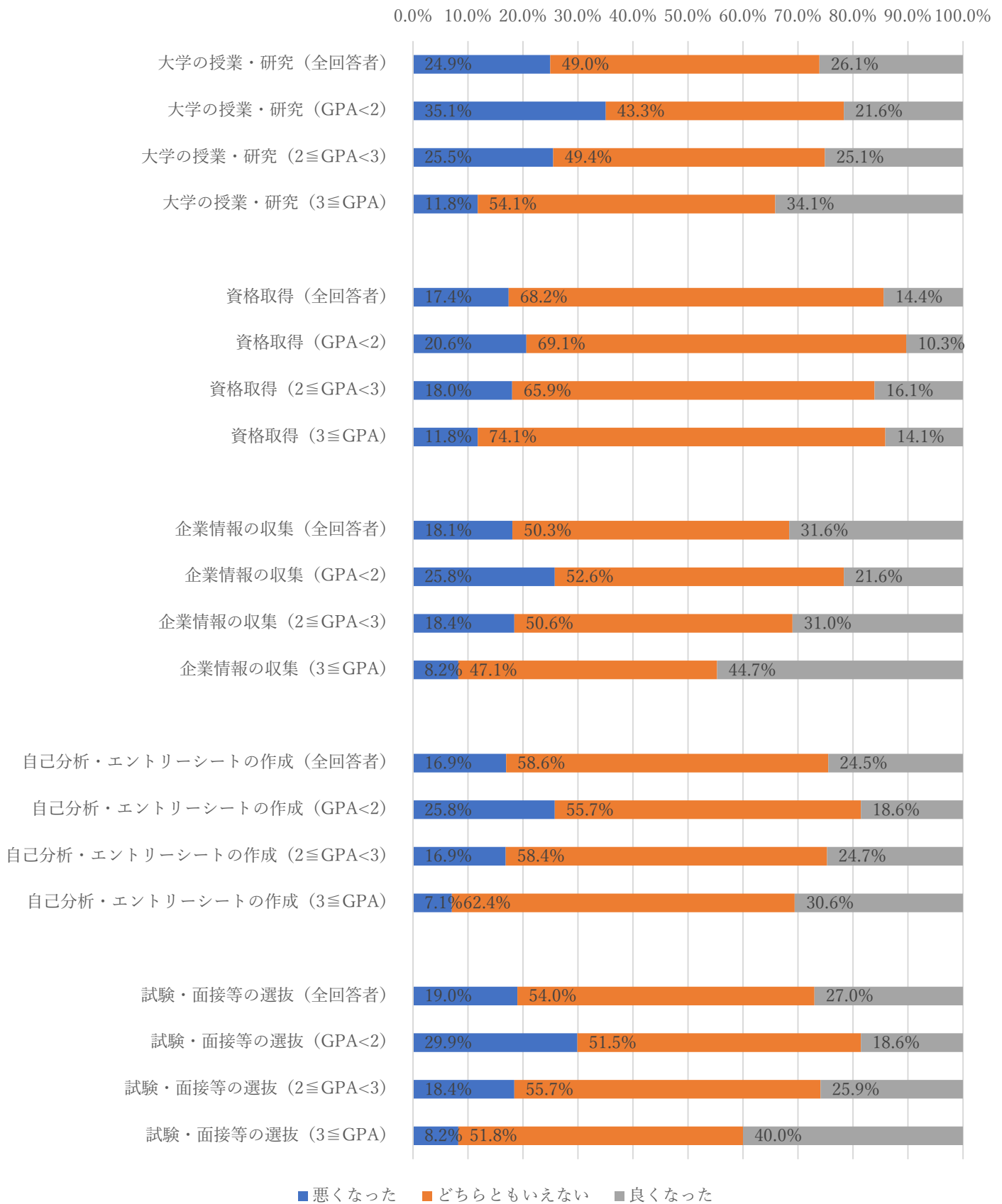


図15：オンライン授業による影響（その2）

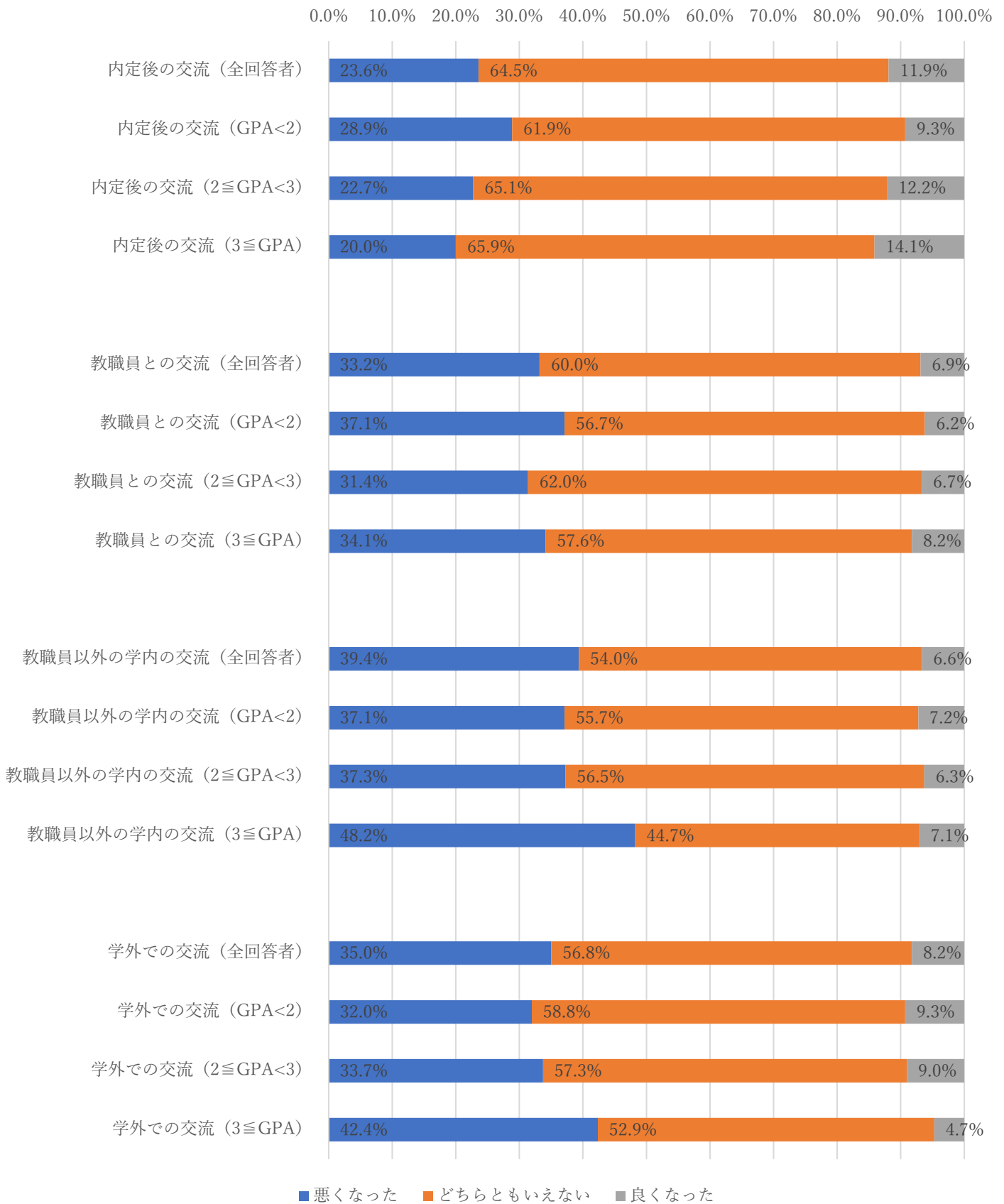


図16：コロナ禍で利用が制限されて困った学内施設等その1
(いくつでも選択可)

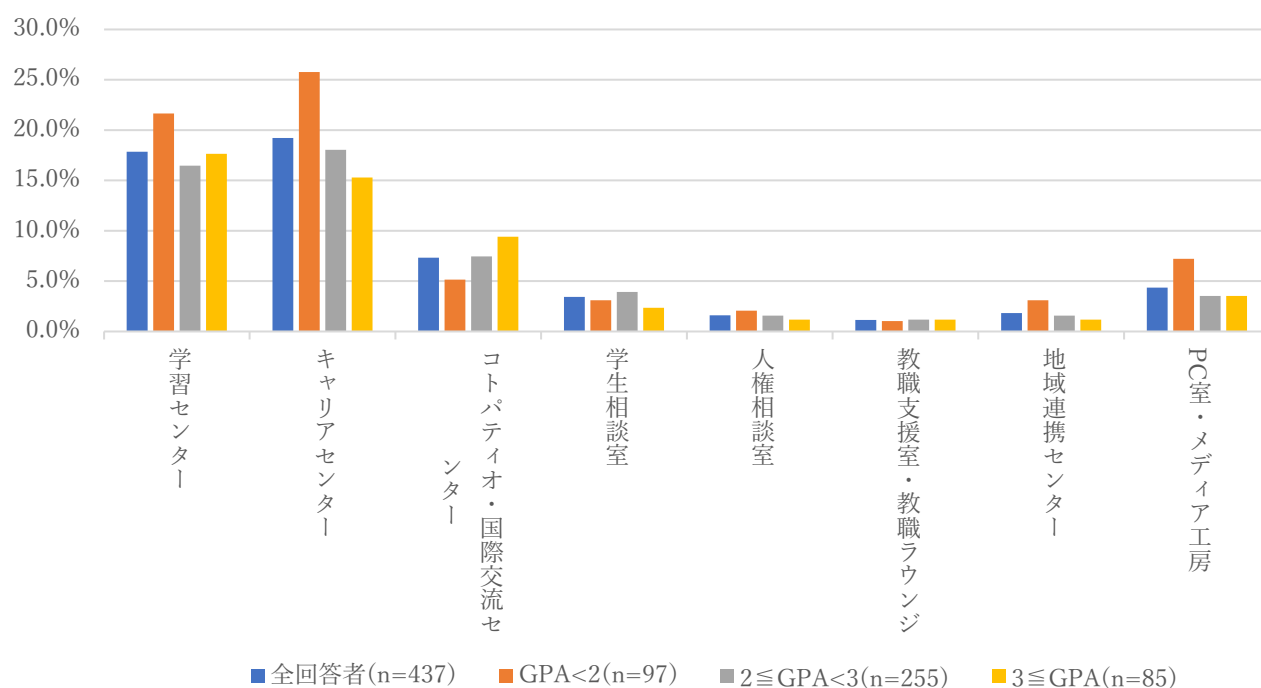
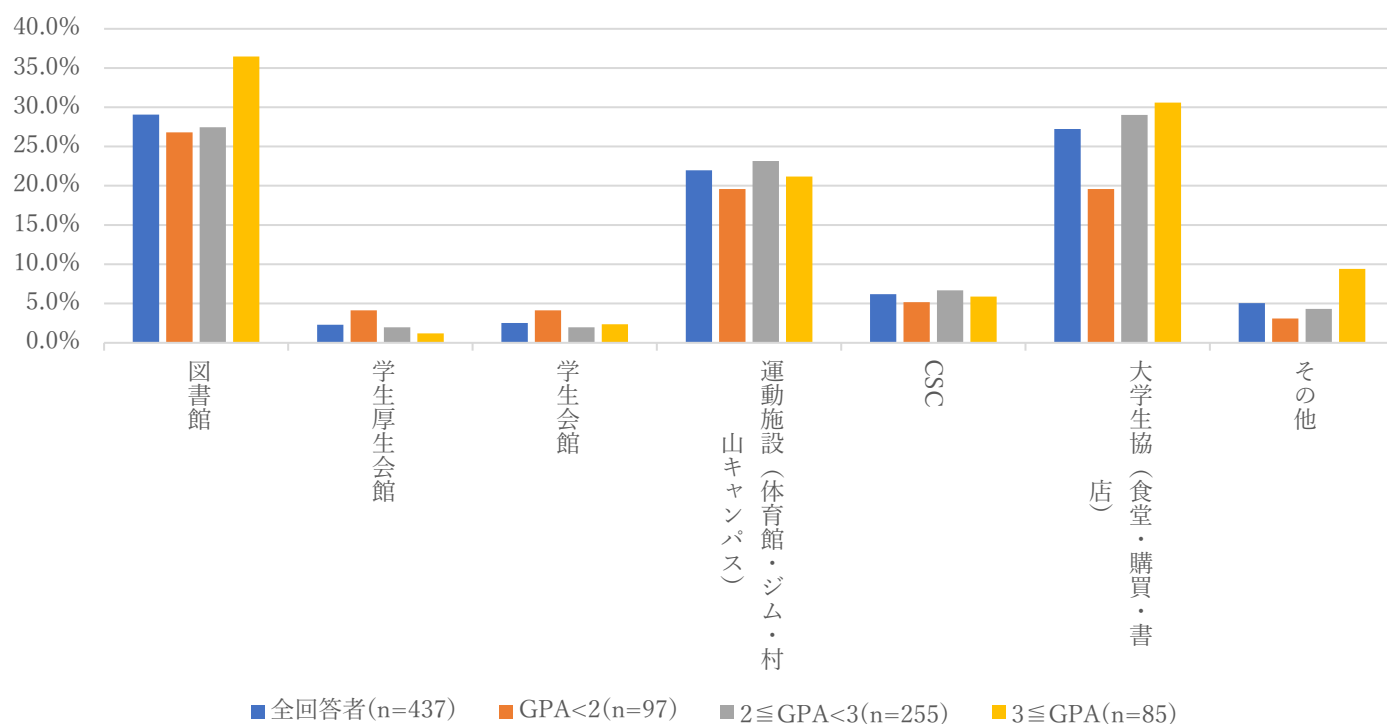


図17：コロナ禍で利用が制限されて困った学内施設等その2
(いくつでも選択可)



2023 年度 9 月卒業時アンケート結果概要

- ① 授業履修時に重視した要素から、3 月卒業生と一部、異なる履修行動をとっていることがわかる。→図 1
- ② 入学後の満足度は総じて高く、特に「総合教育科目に関わる教育」、そして履修者に限定した場合の「ゼミ」の満足度において、回答者全員が「満足」と回答している（「満足」+「どちらかといえば満足」）。→図 2、図 3
- ③ 各 DP のについては、DP2 が目立って低いが、それ以外は総じて「身についた」と感じている割合が高い。→図 4
- ④ 進路については、正社員率が 3 月卒業に比べ低く、未定が過半数以上存在。業種・職種・地域に関しては業種面での妥協を感じている割合が高い。→図 5、図 6
- ⑤ 就職活動で評価された能力、活動としては、DP 関連は DP2 だけが高く、それ以外は低く、活動は「アルバイト」が高い。

基本属性					
性別	回答数	割合	入試形態	回答数	割合
男性	7	100.00%	推薦入試	1	14.29%
女性	0	0.00%	一般入試	5	71.43%
その他		0.00%	センター入試	0	0.00%
無回答		0.00%	スポーツ入試	0	0.00%
所属学科	回答数	割合	資格取得者入試	0	0.00%
経済学科	4	57.14%	外国人留学生入試	0	0.00%
国際経済学科	3	42.86%	3年次編入	1	14.29%
卒業生：12名 回答数：7名 回答率：58.33%					

図1：授業履修時に重視した要素

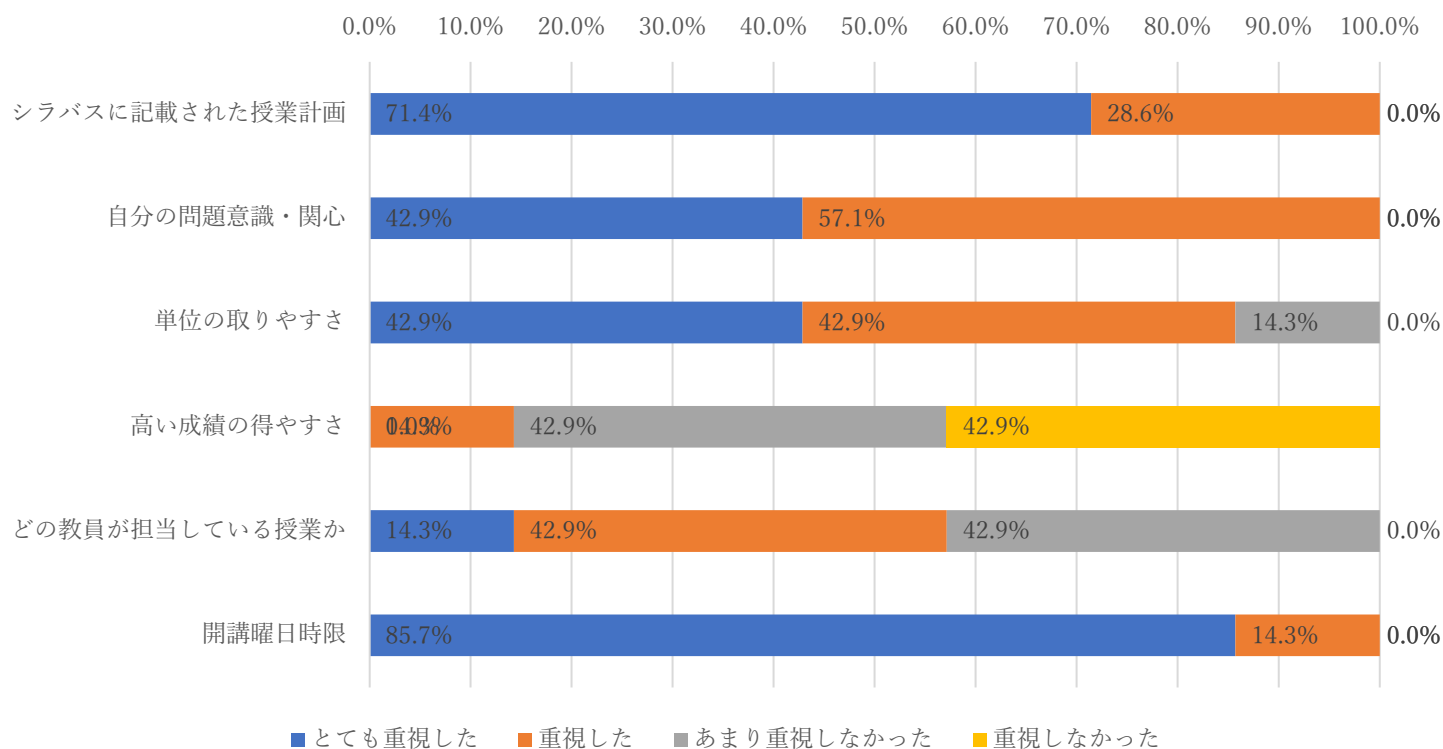


図2：入学後の総合的な満足度

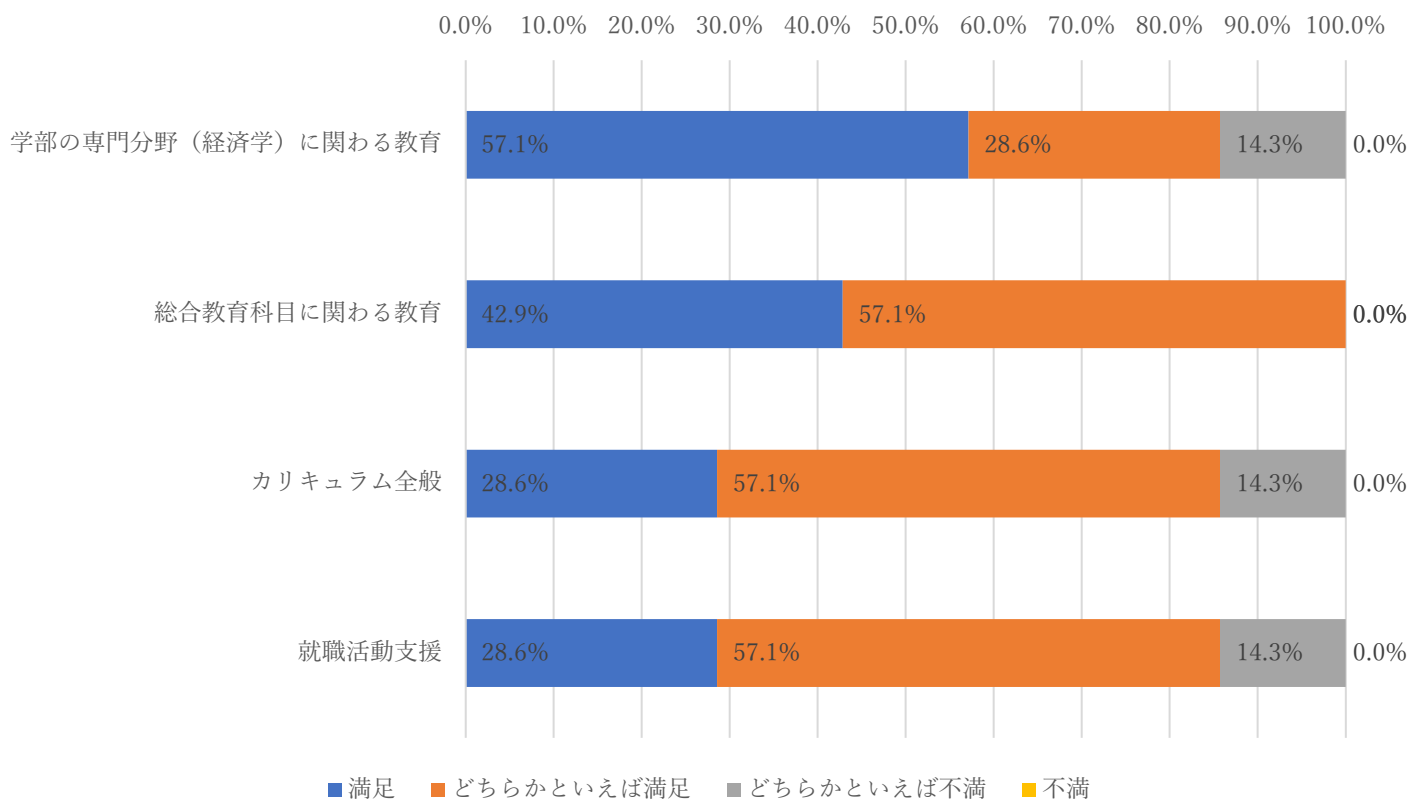


図3：ゼミ満足度

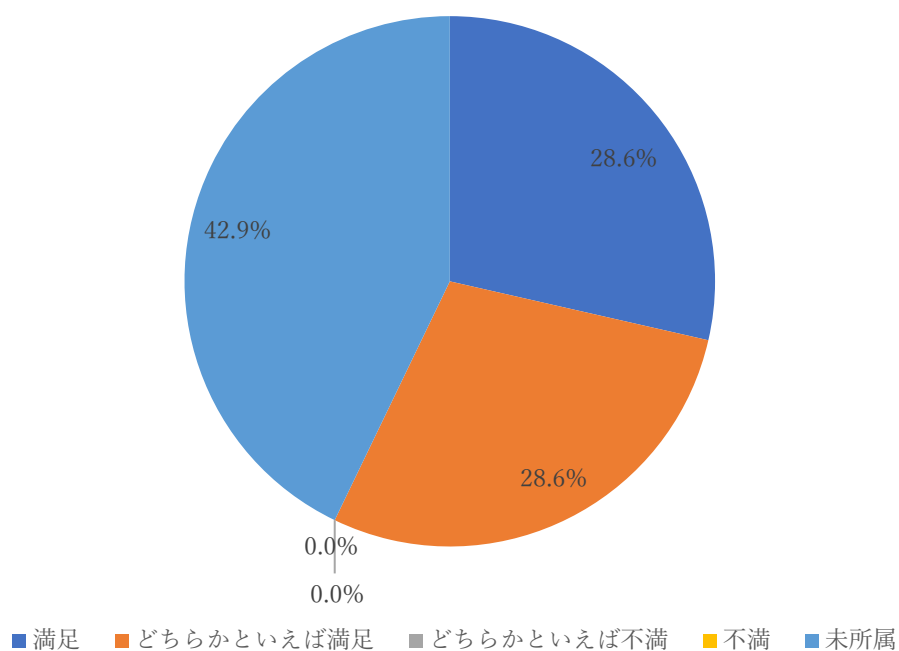


図4：大学での学習を通じて身に着けた能力、スキル

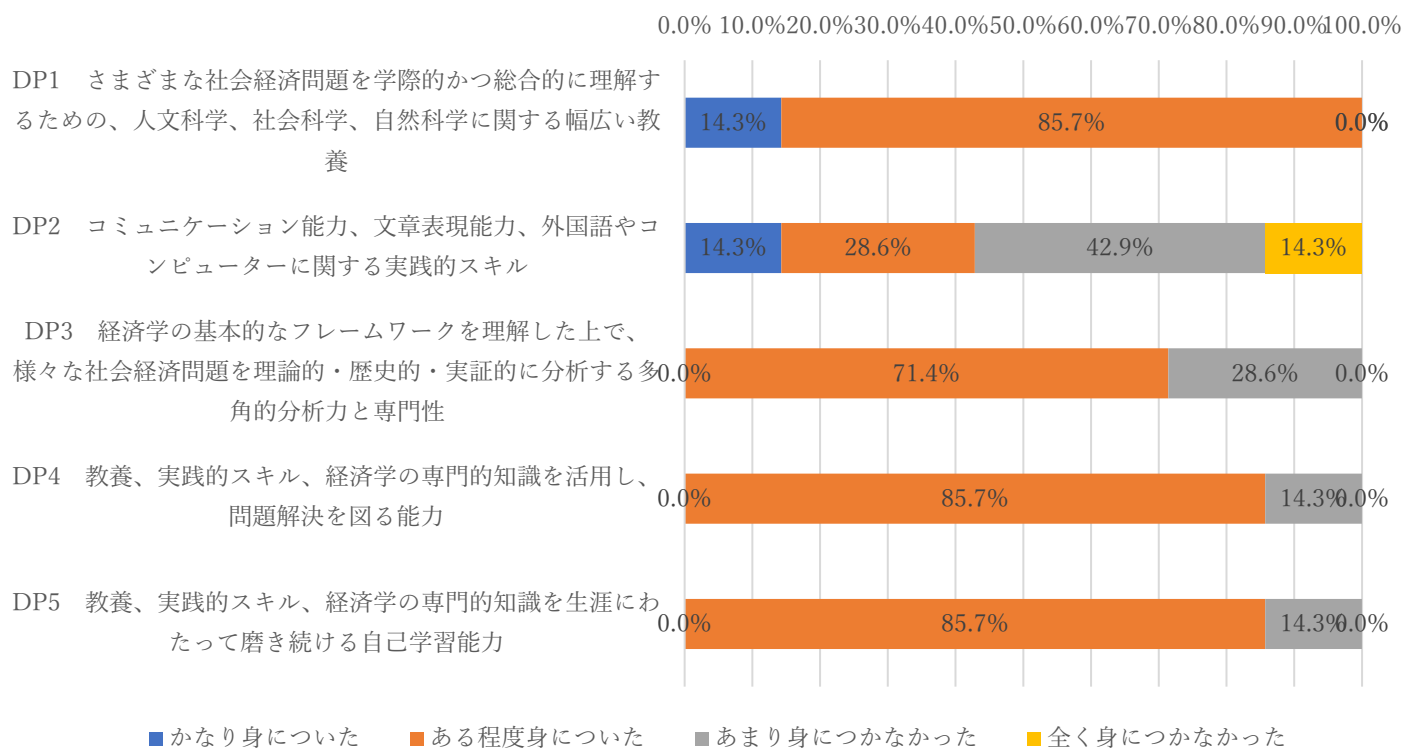


図5：予定進路

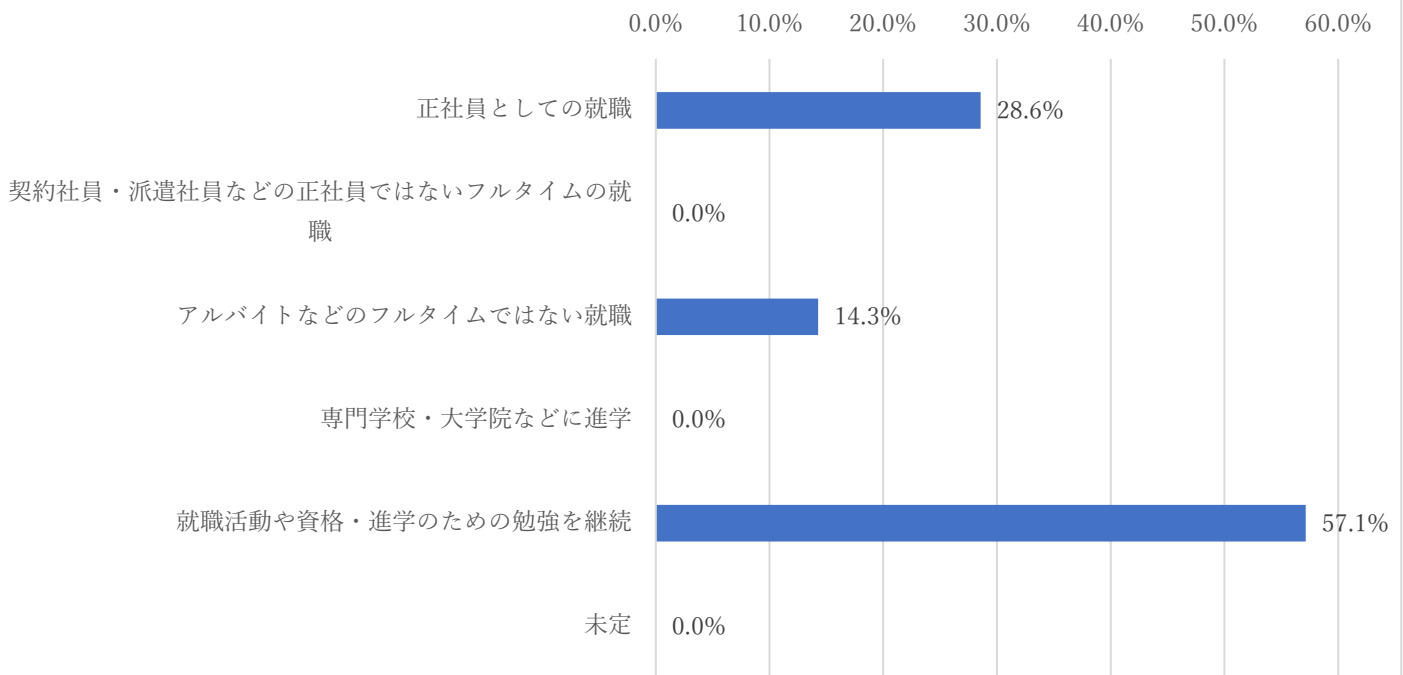


図6：進路と希望度

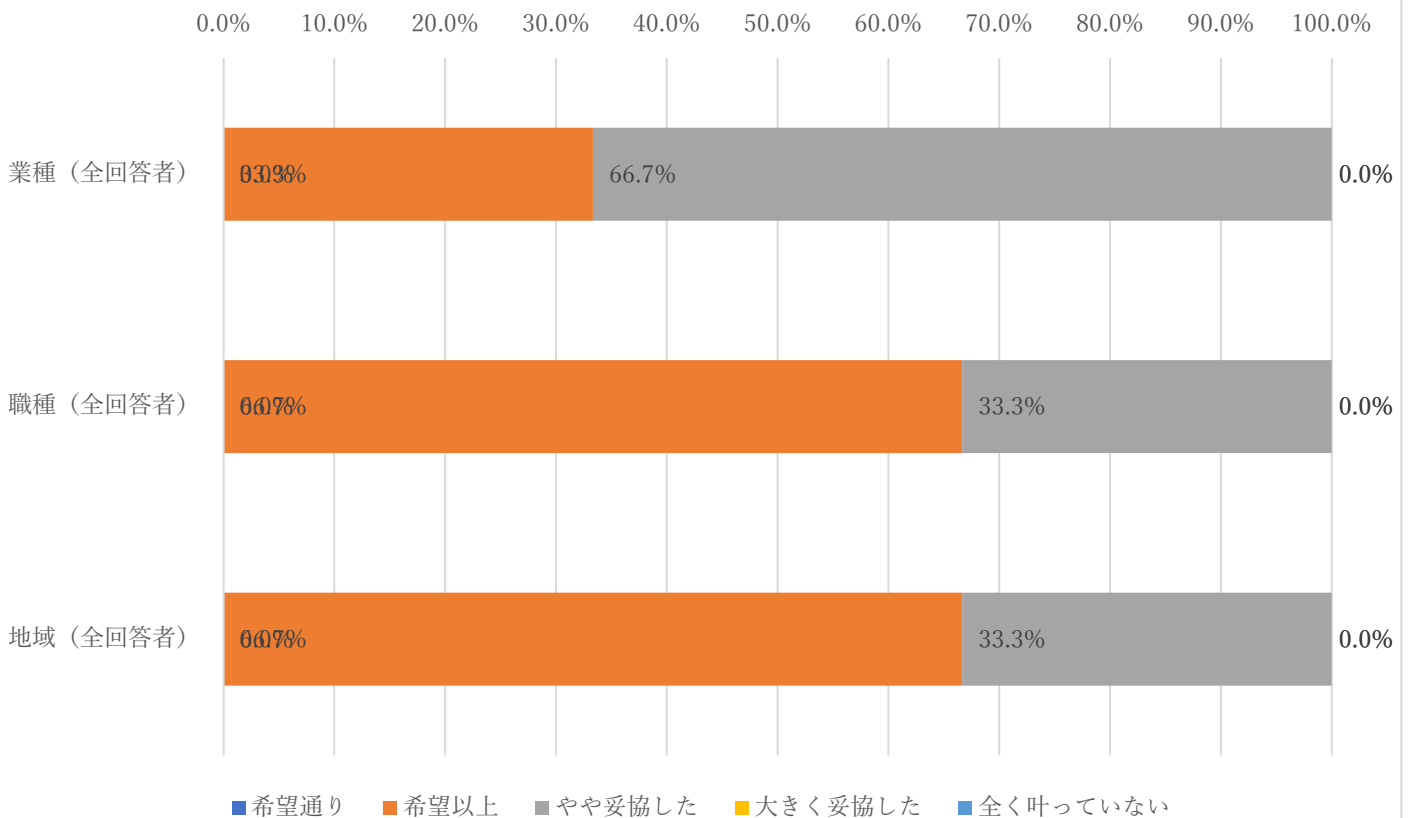


図7：就職活動で評価されたと感じた能力

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

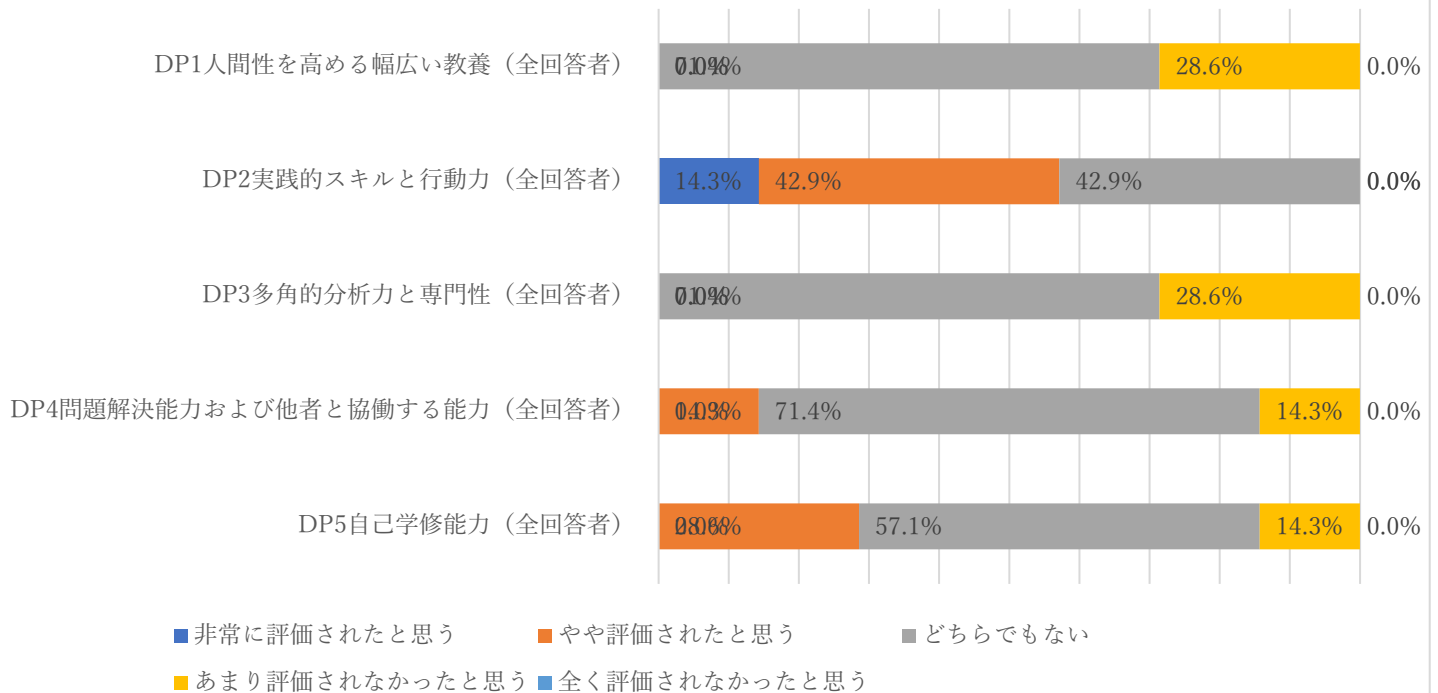


図8：就職活動で評価されたとと思う大学の活動（3つまで選択可）

